

### 3 住宅の建て方

居住世帯のある住宅(以下、住宅という)を建て方別にみると、一戸建は369,600戸で住宅全体の66.6%、共同住宅は164,600戸で29.6%、長屋建は16,900戸で3.0%となっている。

平成20年と比べてみると、長屋建は10.6%減となっているが、一戸建は1.7%の増、共同住宅は6.5%の増となっている。

共同住宅について、階層別に平成20年と比べてみると、「6階以上」が、20.1%増となり高層化が進行していることを示している。

住宅全体に占める共同住宅の割合は、全国の42.4%に対し本県は29.6%と12.8ポイント下回っている。

都道府県別での順位をみると、平成20年から平成25年の共同住宅の増減率は全国19位(6.5%)となっているが、そのうち6階建以上のものについては、増減率が全国16位(20.1%)となっており、本県においては高層化が進行していることを示している。

<表3、付表3>

表3 住宅の建て方別住宅数(居住世帯のある住宅)

単位:戸、%

	長崎県							
	平成15年		平成20年		増減率 H20-25	平成25年		増減率 H20-25
	構成比	構成比	構成比	構成比				
総数	526,600	100.0	539,200	100.0	2.4	555,300	100.0	3.0
一戸建	357,200	67.8	363,300	67.4	1.7	369,600	66.6	1.7
長屋建	19,800	3.8	18,900	3.5	4.5	16,900	3.0	10.6
共同住宅	146,800	27.9	154,500	28.7	5.2	164,600	29.6	6.5
1階~2階	53,400	10.1	50,200	9.3	6.0	52,800	9.5	5.2
3階~5階	66,300	12.6	65,000	12.1	2.0	64,500	11.6	0.8
6階以上	27,300	5.2	39,400	7.3	44.3	47,300	8.5	20.1
その他	2,700	0.5	2,500	0.5	7.4	4,100	0.7	64.0

数値は居住世帯のある住宅  
構成比は、総数に占める割合

付表3 住宅の建て方の他都道府県との比較(居住世帯のある住宅)

	共同住宅												
	平成15年		平成20年		増減率(H15-20)		平成25年		増減率(H20-25)				
	構成比	順位	構成比	順位	順位	順位	構成比	順位	順位	順位			
全 国	18,732,800	40.0	-	20,684,300	41.7	-	10.4	-	22,085,300	42.4	-	6.8	-
長 崎 県	146,800	27.9	18	154,500	28.7	18	5.2	40	164,600	29.6	17	6.5	19

	共同住宅 6階以上												
	平成15年		平成20年		増減率(H15-20)		平成25年		増減率(H20-25)				
	構成比	順位	構成比	順位	順位	順位	構成比	順位	順位	順位			
全 国	5,455,600	11.6	-	6,746,100	13.6	-	23.7	-	7,853,600	15.1	-	16.4	-
長 崎 県	27,300	5.2	20	39,400	7.3	18	44.3	8	47,300	8.5	16	20.1	16

数値は居住世帯のある住宅